

Title	電子商取引ビジネスにおける競争優位性の研究
Sub Title	
Author	藤田久男(Fujita, Hisao) 柳原一夫
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1999
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1999年度経営学 第1543号 連絡が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001999-1543

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

所属ゼミ	柳原 研究会	学籍番号	89828790	氏名	藤田 久男
(論文題名)					
電子商取引ビジネスにおける競争優位性の研究					
(内容の要旨)					
<p>インターネットなどの商用ネットワークを利用したビジネス（オンラインビジネス）は、インターネット出現以前の Niftyserve などのパソコン通信が主流であった時代より数多く存在していたが、ここ数年間のインターネットの急速な普及に伴い、多種多様なネットワーク上のビジネスが数多く考案されてきている。今後においては、インターネットを利用したビジネスは、情報通信産業の成長の担い手として期待されており、コンピュータネットワークを利用したビジネスの中心として電子商取引の普及が期待されている。</p> <p>しかし、今までの電子商取引の事例においては、ビジネスの概要や、大型のビジネス（デル・コンピュータにおけるユーザへの直接販売電子商取引サイト、ASKUL などの文房具の電子商取引サイトなど、大手の企業が広域に対してサービスを行うもの）の、先端技術を用いたものとして技術優位のユーザにおける適用事例があるのみであり、今後の日本経済の回復の源となるような中小規模や、ベンチャーとして開始する電子商取引の構築におけるビジネスシステムとして研究されたものではないと考える。コンピュータネットワークを利用したビジネスは既存のものと比較してビジネスインフラの環境も異なり、今までのビジネスモデルで表現しきれない部分も存在する可能性も考えられる。</p> <p>本論文においては、B to C 電子商取引ビジネスを分類し、その上で電子商取引ビジネスのなかでのオンライン店舗の構築にスポットを当て、実際のオンライン店舗の立上げプロセスを通じて、その競争優位性の原点を探った。その結果として、オンライン店舗の競争優位性は、インターネットの利用にあるのではなく、それをツールとして使いこなせる技術力など、“インターネット利用”以外のところにあると結論づけた。その上で、実際に立ち上げたオンライン店舗から、その後のビジネス戦略について述べている。</p>					